



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ル メ 杵 屋
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 椋 本 充 士
(コ ー ド 番 号 9 8 5 0 東 証 第 一 部)
本 社 所 在 地 大 阪 市 住 之 江 区 北 加 賀 屋 三 丁 目 4 番 7 号
問 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 取 締 役 副 社 長
氏 名 森 田 徹
電 話 0 6 - 6 6 8 3 - 1 2 2 2 (代)

当社レストラン店舗設備における減損損失（特別損失）および当社連結子会社 1 社における固定資産売却益（特別利益）の計上並びに平成 29 年 3 月通期業績予想と実数値との差異に関するお知らせ

当社のレストラン設備において、減損したことにより特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。また、当社の連結子会社である水間鉄道株式会社が固定資産を譲渡したことにより特別利益を計上しましたので、お知らせいたします。また、平成 29 年 2 月 13 日の決算発表時に公表いたしました通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想と、本日公表の実数値に差異が生じたので、下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失及び特別利益の計上について

当社保有資産であるレストラン店舗設備において、財務状況等を勘案し 39 店舗のレストラン店舗設備を減損したことにより特別損失として 2 億 8 百万円を計上し、当社 100%子会社である水間鉄道株式会社が固定資産を譲渡したことにより固定資産売却益（特別利益）として 4 億 56 百万円を計上しました。

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 28 年 2 月 13 日発表)	40,336	459	478	134	5.95
今 回 修 正 予 想 (B)	39,409	412	434	425	18.86
増 減 額 (B-A)	△927	△47	△44	291	—
増 減 率 (%)	△2.30	△10.24	△9.21	—	—
(参 考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	38,552	454	461	370	16.41

3. 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 28 年 5 月 12 日発表)	1,442	237	79	3.50
今回修正予想 (B)	1,664	331	312	13.83
増 減 額 (B-A)	222	94	233	—
増 減 率 (%)	15.40	39.66	—	—
(参 考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	15,161	712	△72	△3.22

4. 修正の理由

（連結）

連結売上高につきましては、レストラン事業における既存店売上高の増加及び業務用冷凍食品製造事業における受注が増加しましたが、機内食事業の新規工場等の受注が予想を大幅に下回りました。結果、当初計画を下回る見込みとなりました。利益面につきましては、原価率低減、労務費削減等のコストコントロールに努めましたが、営業利益・経常利益において当初計画を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、特別利益として固定資産売却益等を計上したことにより当初計画を上回る見込みとなりました。

（個別）

個別売上高につきましては、株式会社グルメ杵屋レストランにおける既存店売上高の増加によりロイヤリティー収入が順調に増加した結果、当初計画を上回る見込みとなりました。経常利益面におきましては、人件費増加等により、当初計画を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、当社連結子会社であります水間鉄道株式会社が固定資産売却益により財務状態が改善したこと並びに当社連結子会社であります株式会社グルメ杵屋レストランが業績好転により財務状態が改善したことにより貸倒引当金戻入益並びに子会社損失引当金戻入益の特別利益の計上等により当初計画を上回る見込みとなりました。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上